

令和4年度第6回社会教育委員の会議

令和5年2月20日（月）午前9時30分から
市役所第二庁舎 8階・801会議室

次 第

1 議題

- (1) 会議録の承認について
- (2) 令和5年度管外視察研修について
- (3) 放課後子どもプラン運営委員会への出向委員について
- (4) 令和5年度会議等の日程について

2 報告

- (1) 地域学校協働活動について
- (2) 令和4年度小金井市二十歳を祝う会について
- (3) 第53回関東甲信越静社会教育研究大会について
- (4) 東京都市町村社会教育委員連絡会第5ブロック研修会について
- (5) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会の開催について
- (6) その他

3 資料

- | | |
|----------------------------|-------|
| (1) 令和4年度第5回社会教育委員の会議会議録 | 【資料1】 |
| (2) 令和5年度管外視察研修について | 【資料2】 |
| (3) 令和5年度会議等の日程について | 【資料3】 |
| (4) 地域学校協働活動について | 【資料4】 |
| (5) 令和4年度小金井市二十歳を祝う会について | 【資料5】 |
| (6) 第53回関東甲信越静社会教育研究大会報告書 | 【資料6】 |
| (7) 都市社連協第5ブロック研修会報告書 | 【資料7】 |
| (8) 都市社連協交流大会・社会教育委員研修会報告書 | 【資料8】 |
| (9) 令和5年度都市社連協定期総会議案書（案） | 【資料9】 |

4 今後の予定

- (1) 第7回社会教育委員の会議（三者合同会議）
日時：3月3日（金）午後1時～午後2時30分
場所：小金井市立図書館本館図書館地階集会室
- (2) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会総会
日時：4月15日（土）午後1時から
場所：アキシマエンス体育館

令和 5 年度管外視察研修について

○令和 4 年度視察候補にあがっていた自治体

- (1) 三鷹市 担当部署（教育政策推進室）…**令和 4 年 7 月に視察済み**
学校 3 部制について
- (2) 小平市 担当部署（地域活動支援課）及び統括コーディネーター等より、小平市の地域支援体制や学校支援本部の運営等について学ぶ。
- (3) 清瀬市 担当部署（生涯学習スポーツ課）及び学校支援本部の役員、統括コーディネーター等より、学校と地域との連携・運営等について学ぶ。

※その他、地域と学校のつながりが参考になる自治体

- ・立川市、八王子市、国分寺市

○過去の視察先

年度	視察研修先	
平成25年度	小金井市立清里山荘	
平成26年度	杉並区立向陽中学校	国分寺市立第七小学校
平成27年度	研修なし(第3次生涯学習推進計画策定のため)	
平成28年度	小平市立小平第二中学校	小平市立第六小学校視察
平成29年度	狭山市生涯学習関係施設	
平成30年度	国分寺市立本多公民館	八王子市立松木中学校
平成31 (令和元)年度	立川市(立川市民科)	鷹南学園三鷹市立第五中学校
令和2年度	研修なし(新型コロナウイルス感染症予防、及び第4次生涯学習推進計画策定のため)	
令和3年度	研修なし(新型コロナウイルス感染症予防 (緑小地域学校協働活動について勉強会開催))	
令和4年度	三鷹市教育センター	連雀学園三鷹市立第六小学校

令和 5 年度社会教育委員の会議等日程（案）

第 3 1 期

月 日	曜日	内 容	時 間	場 所
4/15	土	都市社連協定期総会	13 時～	アキシマエンス （昭島市）
4/17	月	第 1 回社会教育委員の会議	9 時 30 分～	801 会議室
5/22	月	第 2 回社会教育委員の会議	9 時 30 分～	801 会議室
7 月上旬		第 3 回社会教育委員の会議 （管外視察研修）	未定	未定
8/21	月	第 4 回社会教育委員の会議	9 時 30 分～	801 会議室

第 3 2 期

月 日	曜日	内 容	時 間	場 所
10/16	月	第 5 回社会教育委員の会議	9 時 30 分～	801 会議室
10 月～ 11 月		第 5 ブロック研修会 ＜ブロック幹事市：三鷹市＞	未定	未定（三鷹市）
11/20 （仮）	月	三者合同会議（第 6 回社会教育委員 の会議） ＜担当：生涯学習課＞	9 時 30 分～ （仮）	801 会議室 （仮）
11/21（火）～ 22（水）		関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会 ＜希望者 2 名参加＞	未定	栃木県総合文化セン ター（宇都宮市）
12/9	土	都市社連協交流大会・全体研修会	未定	文化会館たづくり （調布市）
1/22	月	第 7 回社会教育委員の会議	9 時 30 分～	801 会議室
2/19	月	第 8 回社会教育委員の会議	9 時 30 分～	801 会議室

※第 3 1 期社会教育委員任期 9 月 8 日まで 第 3 2 期任期は 9 月 9 日から

※令和 5 年度・令和 6 年度は東京都市町村社会教育委員連絡協議会の副会長市、令和 7 年度は会長市

令和 4 年度地域学校協働活動について

1 地域コーディネーター研修等

- (1) 第 2 回地域コーディネーター連絡会（1 2 月 1 日）
 - ・事前アンケート実施、活動事例紹介、情報交換
 - (2) 東京都令和 4 年度地域学校協働活動推進フォーラム/コミュニティスクール推進フォーラム（1 2 月 1 0 日※オンライン開催）
 - ・テーマ別分科会を開催、各コーディネーターは関心のある 2 テーマに参加。
- ① コミュニティ・スクールの導入
 - ・行政担当者のためのコミュニティスクール導入理解課
 - ・学校運営協議会委員のためのコミュニティスクール理解
 - ② 小学校における多様な地域学校協働活動の展開
 - ・放課後等の学習支援の多様な取組について～地域未来塾等の課題や工夫～
 - ・PTA 等保護者と地域学校協働活動との関りや連携について
 - ③ 中学校における多様な地域学校協働活動の展開
 - ・CS や地域学校協働本部による居場所づくりの可能性
 - ・放課後等における中学校の学習支援の取組に学ぶ

<フォーラム特設HP（2 月末まで）>

<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/shien/R4forum/R4index.html>

2 令和 4 年度の主な活動実績について（令和 4 年 1 2 月末まで）

学校名	活動名	日数
小金井第一小学校	消毒	1 3 3 日
	不登校児見守り	5 3 日
	夏休みの水まき	4 2 日
東小学校	登下校見守り	学校開校日全日
	休み時間校庭見守り	学校開校日全日
	地域未来塾（1 0 月より開始）	2 日
前原小学校	わんわんパトロール・らんらんパトロール	学校開校日全日
	地域未来塾	4 2 日
緑小学校	清掃・消毒	学校開校日全日
	うさぎの世話	9 6 日
	地域未来塾	6 4 日

※その他、各学校のニーズに応じて随時、授業補助、校外学習補助、行事補助等を行っている。

3 来年度に向けての取り組み

- (1) 新規実施校（小金井第二小、本町小、小金井第二中、東中、緑中）へ訪問し校長等へ活動の説明と協力依頼
- (2) 統括コーディネーターと連携し、新任コーディネーター対象研修、中学校コーディネーター対象研修等を企画する。

令和4年度二十歳を祝う会について（報告）

1 式典概要

- (1) 日 時 令和5年1月9日(祝)
 第一部 開会 10時30分 (受付 10時00分～10時25分)
 第二部 開会 12時30分 (受付 12時00分～12時25分)
 第三部 開会 14時30分 (受付 14時00分～14時25分)
- (2) 場 所 小金井 宮地楽器ホール
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席を一席ずつ空けて着席
- (3) 内 容 式典、小金井市にゆかりのあるスポーツ選手及び中学校の恩師からのビデオメッセージ上映、抽選会
- (4) 対象者 平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの方 1,333人
- (5) 区分け 第一部 緑中学校区、
 第二部 小金井第一中学校区、南中学校区
 第三部 小金井第二中学校区 東中学校区
 ※ 事情により指定の部に参加できない場合は、指定の部以外にも参加可能
- (6) 記念品 ステンレスボトル及びボールペン

2 出席者

(1) 人数

		一部	二部	三部	合計
市内	日本人	178	231	244	654
	外国人	1		1	1
	小 計	179	231	245	655
市外	日本人	21	32	10	63
	外国人				
	小 計	21	32	10	63
合計		200	263	255	718
出席率					53.9%

(2) 過年度状況

- 令和3年度 (対象者数 1,175人、参加者数 675人、参加率 57.4%)
 令和2年度 (対象者数 1,295人、※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典中止)
 令和元年度 (対象者数 1,323人、参加者数 722人、参加率 54.6%)
 平成30年度 (対象者数 1,282人、参加者数 683人、参加率 53.3%)

3 式典参加者アンケートについて

(1) 回収率

153 人／718 人・・・21.3%

(2) 式典内容について、5（良い）から 1（悪い）の 5 段階評価の平均値

- ・ 二十歳のことばについて・・・4.71
- ・ 抽選会について・・・4.63
- ・ ビデオメッセージについて・・・4.63
- ・ 記念品について・・・4.42
- ・ 会場について・・・4.64
- ・ コロナ対策について・・・4.61
- ・ 全体を通して・・・4.61

(3) 自由記述

- ・ 二十歳の節目にこのようなすばらしい式ができてとても嬉しい（多数）
- ・ たくさんの準備をありがとうございます（多数）
- ・ 無事に式が行われたことに感謝（多数）
- ・ 久しぶりにみんなに会えて嬉しかった（多数）
- ・ 二十歳のことばが心にしみた、感動した（多数）
- ・ 恩師の先生からのお祝いメッセージが嬉しかった
- ・ ビデオメッセージは、私立中に行ったので何も分からなかった
- ・ 記念品、抽選の景品をもっと豪華にしてほしい
- ・ こきんちゃんがかわいかった
- ・ 式が短くてちょうどよい
- ・ ずっと座っているのがつらかった
- ・ 途中の入出が多く、少し気になりました
- ・ 中学ごとに席を固めてほしい

2022年11月11日

報告書

福井高雄

第53回 関東甲信越静社会教育委員研究大会 山梨大会

日時：令和4年11月10日（木） 12：15～17：00

会場：山梨県甲府市総合市民会館 小金井市：福井・鈴木〔大会参加者、約700名〕

大会スローガン：「人を結ぶ これからの社会教育」～語ろう 甲斐の国やまなしで～

歓迎アトラクション： 甲府市立甲府商業高校 ダンス部 ダンス演技！

* 新型コロナ感染防止策として参加者制限。〔ライブ配信〕

〔開会式〕

- ・開会の言葉：加藤重義（大会副実行委員長）
- ・主催者挨拶：塩島明美（大会実行委員長）、鈴木真理（全国社会教育委員連合会長）、
手島俊樹（山梨県教育委員会教育長）
- ・祝辞：長崎幸太郎（山梨県知事） ・歓迎の言葉：樋口雄一（甲府市長）

基調講演： テーマ「夢の実現 ～努力は裏切らない～」 （80分）

講師：宇津木 妙子（元ソフトボール女子日本代表監督）

『講師紹介ビデオ』（オリンピックのソフトボール競技大会において、2000年シドニーで銀、
2004年アテネで銅、2020東京オリンピックで金メダルを獲得）

『講演会』ソフトボール選手時代の活躍、監督としての苦節体験時代、普及活動の貢献。

- ・1球ごとに魂を込めて勝負にこだわり、努力するが失敗から “継続は力なり”を学ぶ。
- ・監督として、選手に “時間厳守・挨拶・整理整頓”を基本に、公私に全責任を持つ。
- ・試合には平常心を心がけて、感謝の気持ちを持ち、夢を追い続けると努力は報われる。
- ・ソフトボール競技の五輪復活活動と、子供たちに競技の楽しさを教えて指導している。

シンポジウム： テーマ「**新たな生活環境の中で社会教育のあり方を考える**

～社会的包摂に向けた社会教育の果たす役割～（110分）

〔シンポジストの発表〕

- ・ **佐藤悦子**（山梨大学名誉教授）

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、地域ケアシステムを作り**地域共生社会**を実現＝（地域の人材を生かして認知症支援ネットワーク会議や介護予防に取り組む）

- ・ **長池伸子**（npo 法人 スペースふう）〔甲府弁：これ食べるし（これを食べてね）〕

リユース弁当箱＝（食器洗浄⇒弁当作り⇒弁当宅配の循環型サークルにて、孤立しがちな子育てママの見守りがかねて、人と地域をつなぐ活動と環境教育の普及活動を実施する）

- ・ **斎藤和真**（npo 法人 かえる舎）

次世代の人材と一緒に、『自分を**かえる**、地域を**かえる**』をキーワードに、地域と学校と協働して学びづくりに取り組む＝（中高校生への地域探求支援や課外活動プログラムの提供）

〔コーディネーターのまとめ〕

- ・ **進藤 聡彦**（山梨大学名誉教授）

社会的包摂に向けた社会教育活動の果たす役割の実現に向けて、次世代の人と地域が連携しての活動を実践。 人との出会いを通じて、地域の活性化に結びついている

〔閉会式〕

- ・ 時期開催県挨拶： **斎藤陽子**（栃木県社会教育委員協議会 会長）

第54回『**関東甲信越静社会教育委員研究大会 栃木大会**』（11/20・21）

- ・ 閉会の言葉： **山本 睦**（大会副実行委員長）

以上

日時：令和4年11月11日（金） 9：30～12：00

会場：山梨県立図書館 小金井市：福井、鈴木 [第1分科会参加者、約170名]

第1分科会： 『ひとつづくり』

テーマ「学校・家庭・地域の連携協働のあり方」

～地域全体で子どもを育てるために～ (150分)

〔発表〕 井上 美智子 (館林市社会教育委員会 副議長)、

大田 大樹 (山梨県立大学人間福祉学課 准教授)

「放課後子ども教室の開設に向けて ～地域学校協働活動への社会教育委員としての取組～」

- ・放課後子ども教室の活動として、**学校と公民館とが連携協働**して各種事業に取り組む。
- ・**地域学校協働本部を公民館に設置。館林市公民館館長が統括コーディネーターの体制。**

〔話題提供の発表〕 島口 英俊 ((山梨県教育庁生涯学習課 青少年保護育成担当)

「**青少年の非行・被害防止推進事業**」

- ・**インターネット利用**に、情報モラル教材活用、セミナーや被害防止会議を開催して啓発。
- ・**非行・不登校少年**の立ち直り支援に、カウンセラーやサポートネット推進事業との連携。
- ・青少年の「**家庭・体験・学習・就労**」支援に、各関係機関との連携の協働体制を整備。

〔助言者のまとめ〕 太田 研 (山梨県社会教育委員)

- ・若者意識調査における低い自己肯定型意識から、自然体験をとうして**肯定型意識**を養う。
- ・子どもを育てるビジョンを明確にして、若者と地域の人との**対話**が必要である。
- ・多様な子どもに対して、専門的コーディネーターの**継続的な協力**が課題である。

〔 甲府弁：よっちゃばって話をするじゃんけ (集い、語しあいましょう) 〕

以上

2022年11月6日

報告書

福井高雄

令和4年度 東京都市町村社会教育委員連絡協議会

〔第5ブロック研修会〕

日時：令和4年11月6日（日） 13：30～16：30

会場：武蔵野スイングホール（スカイルーム）

開催市；**武蔵野市**（武蔵野市教育委員会教育部生涯学習スポーツ課）テーマ 「**市民ニーズを生かす・つなげる“学びおくり”のいま
～社会教育にできること～**」

参加市：武蔵野・三鷹・調布・府中・小金井・狛江 = 6市。（参加者約35名）

小金井市参加者：**柴田・福井・森本・富田** 職員：**倉澤** = 5名。

〔開会式〕

開会の辞 **助友 裕子**（武蔵野市社会教育委員の会議 議長）

〔武蔵野市シンボルカラーの紫色のTシャツにて、皆さんをおもてなし〕

開会市挨拶 **竹内 道則**（武蔵野市社会教育委員会 教育長）主催者挨拶 **篠崎 光正**（都市社連協 副会長）〔学びをとうして地域と人が集うには、**人の心を通わす**ことが大切である〕

【研修会】

〔1部〕 “**学びおくり**”とは？ 解説：**助友 裕子**

第二期「武蔵野市生涯学習計画」の ① 背景（人口の推移、市民に学びの意識調査実施）

② 基本理念（学びおくりとは造語。概要版にて、学んだことを次世代におくる内容説明）

③「学びをひろげる・つなげる」の支援（生涯学習事業費・活動団体支援事業費の補助金）

・事例紹介：『武蔵野市民交響楽団』 説明：**岡本 厚子**（楽団事務局長・社会教育委員）

1975年設立、会員約90名。演奏会開催、イベント参加、小中学校吹奏楽部支援

〔2部〕 **ワールドカフェ**（7グループにて討議） ファシリテーター：**光田 剛**テーマ「**～社会教育にできること～**」（市民ニーズを活かしての課題・解決策）

・課題：高齢化、公共施設利用、広報活動、情報の共有、異世代交流、補助金制度。

・解決：次回の検討事項となるが、地域と人との学びには、**楽しくをモットー**に活動。

〔閉会式〕

・次期幹事市挨拶 **田中 雅文**（三鷹市教育委員の会議 議長）・閉会の辞 **光田 剛**（武蔵野市社会教育委員の会議 副議長）

以上

2022年12月10日

報告書

福井高雄

令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会**交流大会・社会教育委員研修会**

日時：令和4年12月10日（土） 13：30～16：20

会場：昭島市公民館 開催市；昭島市（昭島市生涯学習課）

都市社連協統一テーマ：『市民のニーズを活かす・つなげる社会教育

～対話からつくろう これからの「学び」～』

参加者：26市3町の社会教育委員・職員 [参加者は、約90名]

小金井市参加者：福井・富田 職員：関＝3名

〔挨拶・祝辞〕

開会の辞 篠崎 光正（都市社連協 副会長）

挨拶 谷部 憲一（都市社連協 会長）

来賓祝辞 山下 秀男（昭島市教育委員会 教育長）

〔交流大会〕 【各ブロック研修会の実施報告】**第1ブロック：福生市 『みんなで「学ぶ・楽しむ・つながる」社会教育を目指す』**（52名）

〔地域で育てられた人が、新たな仲間づくりをとうして、地域貢献する持続可能なまちづくり〕

第2ブロック：立川市 『わがまちならではの学び』（42名）

〔「立川市民科」の教育循環の事例発表と、地域資源を生かした連携・協働事業の推進を図る〕

第3ブロック：日野市 『デザインでつながる学び ～創造してみよう！』（23名）

〔紙コップを使いアニメ作品などの事例をとうして、楽しく学びあえるまちづくりを目指す〕

第4ブロック：小平市 『地域学校活動を円滑に進めるために』（36名）

〔大学生や企業の市民ニーズを活かし、共同事業をとうしての対話からつながる学びの事例〕

第5ブロック：武蔵野市『市民のニーズを活かす・つなげる“学びおくり”のいま』（39名）

〔生涯学習する学生や団体の支援をとうして、楽しい学びを地域社会や次世代に送る・贈る〕

〔研修会〕 講演会『孤独を解消する！ 誰もが対話し、つながる社会へ』

講師：佐藤 良絵（東京子どもホスピスプロジェクト 代表理事）

・分身ロボット OriHime との出会い・思い（オリイ研究所 OriHime パイロット なおき）

〔遠隔装置による分身ロボット使い、障害者たちの意思伝達のアシストとして社会とつながる〕

・東京子どもホスピスの取り組み

〔昭島市にて、難病の子ども達の学習支援活動事業を立ち上げ、生きることの大切さの事例を〕

〔閉会式〕

挨拶 梶野 光信（東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課主任 社会教育主事）

〔共存共生社会の中、新たなコミュニケーションツールにて対話して生きるための学びづくりを〕

閉会の辞 町田市事務局職員（都市社連協副会長代理）

以上